



背景・目的

- ・アジア、アフリカ諸国の大半は3R関連法が整備されていないため、循環産業の海外展開が困難。
- ・3R推進フォーラム、3R白書、アフリカのきれいな街プラットフォームを通じて、3R・廃棄物政策の優先順位を上げることが必要。
- ・国連機関の名の下で、戦略的な政策展開等を図る。

事業スキーム

環境省から国際機関への拠出金。

第7回アジア太平洋3R推進フォーラム
(アデレード)



事業概要

- (1) 「3R推進フォーラム」の開催経費
「アジア太平洋3R推進フォーラム」を開催し、アジア太平洋地域各国における3R関連の事業形成や政策立案を促進する。
- (2) アジア太平洋3R白書策定経費
3R推進フォーラムの成果文書（ハノイ3R宣言等）に鑑み、アジア太平洋地域内の廃棄物や資源循環に関する情報・データ整備及び地域の課題、政策オプションの検討評価を行う白書を作成・出版する。
- (3) アフリカにおける廃棄物・3R関連のSDGs達成状況評価経費
アフリカ主要都市における廃棄物関連SDGsの評価等に資する適切な指標等を開発し、「アフリカのきれいな街プラットフォーム」を通して普及を図る。

期待される効果

- ・2008年に我が国の提唱でフォーラム設立以来、計7回（2016年）の政務レベル会合を開催し、優良事例の共有や政策対話等により、各国の政策立案や具体的事業形成の進展が報告されている。
- ・3R白書を通じ、廃棄物関連データが未整備なアジア地域の情報整備や課題の分析等を実施。我が国の技術の環境効果や経済効果等の優位性も客観的に示し、循環産業の海外展開を促進。
- ・アフリカの廃棄物関連ベースデータ整備とSDGs進捗状況の指標管理は、各国の政策策定に寄与し、日本企業進出を促進する。

事業目的・概要等

イメージ

<アジア太平洋地域における戦略的な3Rの推進>



<アフリカにおける戦略的な3Rの推進>

